

## 『慢性好酸球性肺炎の再燃予測因子の検討に関する後方視的研究』 に関係する患者さん、御家族の皆様へ

当院では、『慢性好酸球性肺炎の再燃予測因子の検討に関する後方視的研究』という研究を行っています。慢性好酸球性肺炎の再燃の予測因子を明らかにすることが研究の目的です。

### <研究の対象となる患者さん>

1999年1月から2018年12月までに慢性好酸球性肺炎と診断された患者さんが対象です。

### <研究方法>

患者さんのカルテ等をもとに年齢、性別、問診内容、検査所見、画像所見、治療内容の調査を行います。再燃を認めた患者さんと認めなかった患者さんについて比較を行い、再燃の予測因子を検討します。本研究で患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

### <個人情報の取り扱い>

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせ下さい。  
この研究へのデータ利用を希望されない患者さん、ご家族の皆様は、下記までお申し出下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

TEL: 072-252-3021、FAX: 072-251-1372

内科 竹内 奈緒子

臨床研究センター 新井 徹、井上 義一 (研究代表者)

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会 (IRB) における厳重な審査・承認を受けて実施しています。 (当院ホームページに掲載)